

ベトナムFW事前研修を実施しました！

①NPO法人長崎ベトナム友好協会（平和班）

ベトナムの歴史、日本との関係、現在の国の様子などを伺いました。私たちが訪問するベトナムという国に対するイメージが鮮明になりました。県内にも多数の留学生がいるベトナムに足を運び、自分の目で現地を見ること、活気のある現地のエネルギーを肌で感じることに楽しさになりました。「実際にベトナムを肌で感じ、さらに学びを深めたい」「入国した瞬間に若さに圧倒されるほどの現地のエネルギーを感じたい」「初めて知る長崎とベトナムの関係を学ぶことができ、より一層ベトナムに興味を湧いた」など各人が大いに刺激を受けました。



②長崎大学熱帯医学ミュージアム（医療班）

初めて耳にする病名も多く、顕微鏡病態映像や媒介動物の模型をじっくり見てから、メンバー全員の熱帯医学に対する興味がより一層深まったように感じます。展示の中で最も興奮したのは、危険動物や昆虫の標本です。蛇やネズミ、蚊、蜂などが展示室いっぱいに配置され、生物の多様性が見て取れました。

今回の研修で熱帯医学をより身近に感じるようになり、ベトナムフィールドワークへの意欲も高まりました。活動を自分たちの研究に活かせるようにしっかりと準備していきたいです。

③水質調査（水班）

比較対象の採取とパックテストの練習を兼ねて中島川、浦上川、長崎港での水質調査を行いました。なれないパックテスト、滑りやすい足元、そして容赦なく照り付ける太陽に苦戦しながら調査を行いました。ベトナムではさらに蒸し暑い環境で活動を行わなければなりません。暑さに慣れておかなければとひしひしと感じました。どの調査場所も汚染度合いは比較的低い数値であり長崎の下水道がいかにか発達しているか、長崎の人々が水を汚さないためにどのような意識を持っているのかを窺い知ることができました。そして、この調査を通してグループの仲が深まり、ベトナムに向けてのモチベーションも高まりました。長崎での調査をもとにベトナムの水環境の実態を調査、比較していきたいと思います。

④情報交換会

昨年ベトナムにてフィールドワークを行った先輩方との昼食会を行いました。先輩方が進行をしていただき和気あいあいとした雰囲気の中で会を行うことができました。調査の進め方や注意点、ベトナムで過ごすうえでのアドバイスをいただきました。「（マングローブ植林の時）長靴が泥にはまり身動きが取れなくなる。」、「流暢な日本語を話しかけてくるお土産屋さん

は気を付けたほうが良い。」などの具体的な助言はフィールドワーク中にも大変役立つものになるだろうと思いました。どの先輩も「非常に楽しかった。」と仰っており、私たちのフィールドワークもきっと楽しく、有意義であることを確信しました。

その他、「先輩方からベトナムのイメージが一変すると聞き、ベトナムの今を身をもって感じたいと思いました」「ベトナム戦争は自分たちの戦争のイメージと全く違うという話を聞き、実際に見て感じてみたいと思いました」「自分の意志、研究テーマについての理解や考えをしっかりとっておくべき」との感想が聞かれました。



